

安藤じゅん子 一般質問に登壇！

放課後児童クラブなど7つの項目を質問

平成28年2月定例県議会にて、安藤じゅん子は県議会議員として初の一般質問に登壇いたしました。

千葉県議会議員が一般質問できる時間は1年間でわずか30分間です。

少ない時間のなかで、現在の千葉県が抱える問題を整理し、以下の7つの項目について質問しました。

1 第4次男女共同参画計画について

男女共同参画社会推進は私、安藤じゅん子が掲げる政策のひとつです。全国47都道府県のなかで唯一、男女共同参画を推進する条例を制定していない千葉県のこれからの取り組みについて、質問と要望をしました。

2 インバウンド対策について

インバウンド対策とは、訪日する外国人観光客への対応のことです。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、成田空港を抱える我が千葉県は官民が連携して対策を強化していく必要があります。

今回は医療と民泊について質問しました。

3 放課後児童クラブについて

国は、平成27年4月からスタートした「子ども・子育て支援新制度」において、放課後児童クラブ入所対象児童を、小学校3年生以下から小学校6年生までに引き上げました。しかし、より必要性の高い小学1年生を優先的に受入れる事情から、小学4年生以上の退所勧奨を余儀なくされている実態があり、待機児童も増えています。

また、国は放課後児童クラブの質の維持向上を目的として、新たに「放課後児童支援員制度」を創設し、都道府県は順次認定資格研修を実施しています。

子育て世代が安心して社会で活躍するためにも、放課後児童クラブの待機児童解消はもちろん、質の向上も欠かせません。そこで、行政に対し、待機児童の現状と今後、支援員認定資格研修について質問し、待機児童解消を強く要望しました。

4 非正規雇用者の正社員化について

日本における非正規労働者全体の人数はこの20年間で倍増しています。なかでも正社員になりたいのになれない、不本意非正規労働者の正社員化に関する、県の取り組みについて質問しました。



5 カラーユニバーサルデザインについて

平成15年に色覚検査が健康診断の必須項目から削除されました。しかし、特殊色覚をもつ方の数は多く、色覚バリアフリーへのデザイン的な配慮が必要です。東京都をはじめ、宇都宮市や川崎市など先進自治体では、すでにカラーユニバーサルデザインを取り入れており、千葉県でも導入すべきだと考え、質問いたしました。

しかし県の答弁では、「ガイドラインの見直しがされた場合」という非常に腰の重いものでした。『ちば県民だより』は多くの県民に情報を伝える県の媒体です。その作成については、色覚特殊者に配慮したものとすべきであり、行政側の負担もさほど大きいものではないはずです。「お役所仕事」ではなく、県民のために早く実施できるものは実施するべきです。安藤じゅん子は今後も導入を訴えてまいります。

※本紙はカラーユニバーサルデザインに準じています。

6 自殺対策について

日本の自殺者数は深刻な問題です。千葉県においては全国平均よりも高く、さらに深刻です。千葉県では、平成23年から『立ち寄り処ちば心のキャッチ』を設置するなど自殺対策を行っており、その現状について質問しました。



質問内容の詳細はホームページよりご覧いただけます▶▶▶ <http://andojunko.net/>

平成28年度予算は 前年度比0.3%増の1兆7,139億円 県内経済活性化、農林水産振興、 環境・文化施策等に重点的に予算配分

千葉県議会2月定例会では、平成28年度当初予算と平成27年度の補正予算、各種条例案及びその他附帯議案の90議案について話し合われました。

平成28年度当初予算は1兆7,139億24万余円で前年度比0.3%増となっています。また、27年度2月補正予算は、178億5,313万余円計上されました。

今年度は「新 輝け! ちば元気プラン」の総仕上げの年と位置付けられています。

- 1 県内経済の活性化、農林水産業の振興と社会基盤づくり、暮らしの安全・安心の確立
環境・文化施策の推進に重点的に予算配分
- 2 国の補正予算活用として、地方創生の加速化
- 3 徹底した事務事業の見直しや歳入確保に取り組み、持続可能な財政行動の確立を目指す

安藤じゅん子 プロフィール

1976年5月29日生まれ、いずみ幼稚園、上本郷第二小学校、第六中学校、共立女子学園高校、早稲田大学社会科学部卒業。2010～2014年松戸市議会議員、2015年4月～千葉県議会議員。商工労働企業委員会、歯・口腔保健審議会所属。

ホームページ
<http://andojunko.net/>

ツイッター
<https://twitter.com/andojunko>

Facebook ページ
「安藤淳子と少子化・子育てを考える会」
<https://www.facebook.com/andojunko0529/>

FAX: 050-3488-7708 Eメール: contact@andojunko.net

県政に対するご意見等は
ホームページ、twitter、
facebook ページなどで
受け付けております

7 動物愛護について

千葉県の犬の殺処分を減少させる取り組みとして、動物愛護教室などの啓発活動や飼い主からの引取り方法の見直しなどを実施しています。しかし犬の殺処分ゼロを実現させるには、さらなる取り組みが必要です。

保健所から飼い主への返還数を高める取り組みとして、マイクロチップ装着が有効であると考え、質問をしました。



子育て支援の拡充を求める意見書(案)を提出 【意見書の概要】

- 1 待機児童の解消及び地域の子ども・子育て支援を拡充するため、十分な予算を確保し、子ども・子育て支援新制度への円滑な移行を進めること。
新児童手当等の支給を通じて、子育てを直接支援するとともに、待機児童の解消、仕事と育児の両立支援の充実のため、保育所・認定こども園・学童保育などを拡充すること。
- 2 質の高い幼児教育・保育等を実現するため、保護者や地域の実情に応じて、保育所定員の増員、放課後児童クラブなどの整備、職員の処遇や配置基準の改善等を進めること。
- 3 夜間保育及び病児・病後児保育など多様な保育の提供に取り組むこと。
「貧困の世代間連鎖」を断ち切るために、ひとり親家庭への支援を拡充するなど、子どもの貧困対策法に基づいた施策を行うこと。
- 4 「貧困の世代間連鎖」を断ち切るために、ひとり親家庭への支援を拡充するなど、子どもの貧困対策法に基づいた施策を行うこと。
- 5 虐待を受けた子どもたちの保護や、その後の親子の立ち直りの支援など、虐待防止のための施策を強化すること。